

2023年度後期
1月始業式

聖書 マルコによる福音書12章30-33節（新約聖書87頁）

心を尽くし、精神を尽くし、思いを尽くし、力を尽くして、あなたの神である主を愛しなさい。第二の掟は、これである。隣人を自分のように愛しなさい。この二つにまさる掟はほかにない。

寄り添う心

以前いた学校は生徒が約1500人、先生が約70人、校地は約3万坪、野球場やサッカー場で8面ほどの広さでした。でも避難訓練は礼拝堂からグラウンドまでわずか11分でした。ですから羽田の事故で379名が18分で脱出したことも、訓練の賜物だとわかります。

一方、地震や津波は備えや訓練を重ねても、気づいた時には足腰も立たず、一瞬にして甚大な被害をもたらします。もちろんこれまで被災した経験は救出や支援に生かされても、家族を失った方の深い悲しみと心の痛みを、誰が代われるのでしょうか。

人為的なミスでも、自然災害でも、その経験を生かし、訓練を重ね、技術革新やAI（人工知能）で、より安全な生活が向上すれば素晴らしいことです。しかし最も大切で、必要なのは、どんな時、どこでも取り残された人に寄り添う心ではないでしょうか。

英和に来てからもずっと感謝していることは、こうして生徒、先生が毎朝、礼拝で一堂に会した教室へ戻ることで自然に避難訓練をしていることです。そして何よりも毎朝、誰もが愛され、互いに祈り、寄り添う尊さを確認できていることです。

(しばらく黙祷しましょう)

慈しみ深い主よ、あなたの祝福の下に冬休みを過ごし、新しい年を迎えることができました。しかしいまだ戦禍にある人たち、被災され飢えと寒さに凍える人たちを覚えて祈ります。どうか必要なものが与えられ、ひとときでも早く平穏な暮らしが戻りますように。また英和生の健康と学びも守り導いてください。主イエス・キリストの御名によってお願いいたします。アーメン